



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2020年
6月号
(第47号)

今月のことば

「灯台もと暗し」とは、今の我がクラブの姿では?
(石田孝次選)

2019~2020年度 主題

クラブ会長 深尾香子「等身大を究めよう」

東新部部长 小川圭一(東京世田谷) 「心を尽くして、YMCAのために。」

東日本区理事 山田敏明(十勝) 「勇気ある変革、愛ある行動！」

アジア太平洋地域会長 田中博之(東京多摩みなみ)「Action!!」

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア)「より良い明日のために今日を築く」

《クラブ役員》会長 深尾香子 副会長 真藤広子/伊藤幾夫 直前会長 石田孝次
 書記 小早川浩彦 副書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です)
 「今期を振り返り、次期へのステップアップにつなげましょう！」

今月の強調テーマ: 評価

6月第2例会 ZOOM 会議による開催について

新型コロナウイルスの緊急事態宣言の解除が、5月25日に宣言されましたが、例会会場のベルブ永山も未だ閉鎖の状態が続いています。

5月に引き続き6月例会も中止しますが、第2例会はWEB開催として、下記の日時で、初めて実施してみたいと思います。

5月上旬の接続テストがスムーズに進行できたこともあり、実現可能と判断しました。年度の切り替わりのタイミングですので、議題は主に今年度の振り返りと次年度計画・経費処理に関する検討となる予定です。

まずは、少人数の第2例会から試行し、7月例会につなげたいと考えています。(小早川記)

6月第2例会 Zoom 会議

日時: 6月6日(土)19:00~20:00

6月の Happy Birthday / Happy Anniversary

《誕生日》峰岸幸枝(20日)

メネット小野純子(22日)

《結婚記念日》該当者なし

【巻頭言】 危機の際、議会は何をするのか? (都議会の危機管理について)

国の緊急事態宣言は、当初5月31日まででしたが25日には解除されると思います。知事を始め、行政が緊急事態に何をしているのか、報道等を見るまでもなく明らかです。では議会や議員はいったい何をやっているのか、想像のつく人は少ないと思います。実は緊急事態に議会がすべきことは、つい最近まで明確化していませんでした。行政は執行機関であり、現場を持つわけですが、「議会は審議・決定とチェック機関で、緊急事態に現場に出入りすることは、執行の妨げになる」という考え方もあり、東日本大震災時も整理されていませんでした。



しかし、昨年の台風15号襲来時から行政の災害対策本部に相当する、都議会災害対策連絡調整本部を立ち上げ、会派代表と情報の共有、知事や国に対する決議や意見のとり纏めも行っています。新型コロナではすでに11回の本部会議を開いていますが、まだまだ試行錯誤で、これからです。

(石川良一)

5月例会	在籍14名 (内広義会員2名) 5月例会は中止	出席内訳	メンバー		BF		ファンド	
			名	名	切手	0g(今年度累計 894g)	オークション	0円
			メーキャップ	名	使用済み切手、少しでもご持参ください		(今年度累計 8,000円)	
			出席率	%	ぼんぼこファンド	0円	スマイル	0円
			メネット	名	(今年度累計35,046円)		(今年度累計 38,351円)	
			ゲスト・ビジター	名				

今期を振り返って

新型コロナの影響で、3月以降の例会・第2例会はすべて中止となりました。ワイズの活動もしばらくは大きな制約が課せられましたが、そこはさすがにワイズ。コロナ禍の中でできることを見つけ、手作りマスクの作成やWeb会議の模索など、活動は継続されています。「3密」を避けた活動、ぼんぼこ農園での収穫作業も行われました。今後の活動をどう模索するのか、今期を振り返って、次期へつなげましょう。

トップバッターは深尾会長、以下、投稿順です。

*

深尾香子 今年度の【農園】は、作業告知の継続によって、興味を持つ人から「参加してみたい」と声掛けされる事が増えました。西東京コミュニティーセンターの行事では、スタッフやボランティアリーダーが、成果品を加工して使ってくれるという、嬉しい結果を貰えました。個人で農地を確保することは容易ではありません。加えて加工、販売機会、寄付等、社会との繋がりを体験してもらえぬ我々のスタイルは、ワイズが農園を運営する意味を持たせてくれました。【ロス食品】フードバンク機能を有するNPO法人シェアマインドの運営資金を支援しながら、自クラブの収益事業にもなるようにと始めたこの企画は、一方で「食べて支援」、「環境問題への啓発」の機会でもありますが、皆のアイデアによって大きく成長出来ました。

具体的には、以下のとおりの活動を行いました。

7月：アジア太平洋地域大会（仙台）に協力、地元のふるさと祭りに出店、

8月：3クラブ合同例会でシェアマインドとの協働、東京YMCA夏まつり出店、

9月：ぼんぼこ農園：大根、白菜、キャベツの植え付け

10月：多摩社協「福祉フェスタ」協力

11月：西東京センター秋まつり出店

12月：赤い羽根街頭募金活動、

2月：チャリティーバザーの実施、手作りクッキー販売

3月以降：コロナ禍の中、手作りマスク作成寄贈、収穫玉ねぎの寄贈など。

*

真藤広子 チャーターナイトから3年が経ち、多摩みなみの活動も少しずつ増え来期は成果が出ると期待できる。Y's、多摩みなみが大好きで楽しく、色々な行事に参加出来た。ぼんぼこ農園での植え付けから収穫までは、苦労が多い分喜びも大きかった。昨年は合同新年会の場所決め、価格交渉などに力を注いだ。今期は多摩みなみにとって初めてのバザーを成功させるべく、人脈を頼り、無料の会場を借りることができ、売り上げも目標額を上回る結果に終わった。反省会も出来ていないため、評価について

はわからずじまい。感染予防のため、例会はないまま、私はある事から6月末で退会する。これ程Y'sが好きなのに。

*

田中博之 私の今年のワイズ活動は、7月の仙台で始まり。アジア太平洋地域大会は、東京多摩みなみの皆さんを含め、多くの方々のご協力で目標人数を上回る、811名の参加が得られ、成功裡に終わることができました。この場をお借りして、改めてお礼を申し上げます。その後、東山荘でのアジア・太平洋YMCA同盟大会、韓国地域大会、オーストラリア区大会、フィリピンでのチャーターナイト、また、全国の各部の部大会への出席と今年2月までは目まぐるしい毎日でした。国際間の移動が再開できるのは相当先のことでしょうが、今は、リモートで情報共有、連携、交流を維持しながら、その日を待ち望んでいます。

*

石川良一 まず、例会など半分くらいしか出席できなかったこと、お詫び致します。昨年9月に都議会議長に就任して以来、多忙な日々が続いています。ただ天皇陛下の即位礼に伴う皇室行事に出席できたことは、幸運だったと思います。そしてラグビーワールドカップの開催、台風襲来への対策、オリンピックのマラソン・競歩の札幌への会場変更、そして2020大会の一年延期と続きました。今は新型コロナウイルス感染症対策に追われる日々が続いていますが、充実した一年でした。

*

石田孝次 今期がスタートした当初は、シェアマインドとの協働事業が始まり、ボランティア活動とファンディングの両立という新たなクラブ活動のモデルが確立されました。我々にとってボランティア活動とは、自助、公助、共助の3つのパターンがあり、夫々の関わり方について腑に落ちる理解と認識を深めることができました。これからと言う時にコロナショックで、道半ば。次のステップに進むことが阻まれました。しかし、一方で、会って話合うことができないという状況下で、ZOOMを使ったTV MTGが、我々に欠けていたコミュニケーションを補完する道具になることを教えてくれました。こまめなコミュニケーションの機会をもっと大切に行きたいですね。

*

藤田 智 今年1年、私は何を頑張ったのかと自分に問いかけてみます。自分自身の全てをかけたのは、教員としての仕事です。授業やゼミ、卒論の指導など一生懸命にやりました。しかし、地域のために何か頑張ったかという、ほとんど何もなかったことに気づきます。自分がやれることは限られているので、野菜づくりを皆さんにお伝えできればと思っています。次年度、私の仕事もまだまだ現役なのですが、心機一転、少しでも地域のために仕事をして

行きたいと思います。

＊

綿引康司 今年度は、自分の仕事が非常に多忙であり、また東京 YMCA 会員部運営委員会委員長という大役も仰せつかったの中での当クラブへの参加であったことから、十分に活動に参加することができませんでした。そして最後には新型コロナウイルス禍と、記憶に残る激しい1年であったといえます。当然、私自身仕事を最優先するとの考えであり、その点はメンバーの皆様にもご理解いただけていたと思います。次年度は幾分時間ができると想定していますが、仕事は引き続きこれまでと同じ立場ですので、引き続きのご理解をいただきますようお願いいたします。

＊

井上富子 私は夜の外出が少し無理なので、ワイズの例会にはほとんど出られませんが、「ぼんぼこ農園」には、とても楽しく参加しております。

「ぼんぼこ農園」は2年目になりますが、土が固く、藤田先生が耕運機で耕してくださるのでなんとか作物が植えられています。たい肥や牛糞などの補給がまだまだ必要だと思います。また、今年は、じゃがいもの畝にテントウムシダマシが大量に発生して、葉をどんどん茶色に食い枯らしています。収穫に差し障りがでないか心配です。農村伝道神学校の土地は緑が多く、雑草も生えやすいのですが、石田さんの友人の佐々木さんが頻りに畑を見に来てくれ、雑草も刈り込んでくださっています。

＊

峰岸幸枝 今期参加できた活動を振り返りました。7月は落合夏祭りで、カルビドッグを作って売りました。11月には国立で、ぼんぼこ農園で収穫した野菜を売りました。10月の福祉センターまつりで、社協として餃子を売ったことも思い出しました。12月には、生まれて初めて「赤い羽根募金」の街頭に立ちました。友人が箱に入れてくれてうれしかったことを覚えています。今日は、ぼんぼこ農園で、玉ねぎとにんにくを収穫しました。コロナの影響で経済的に困りの学生さん達に配ると聞きました。また、少しですがマスクを作りました。畑の作業は楽しくて、これからも参加できたらと思っています。

＊

小早川浩彦 上期で印象に残ったのは、11月に行われた「東京 YMCA 西東京センター秋まつり」です。東京武蔵野多摩クラブのお誘いを受け、同日に開催された「国立天下市」の市民祭りにも出店したところ、当クラブで作成した野菜が予想以上に好評で、完売となりました。ワイズに限らず外部とのつながりの重要性を再認識しました。下期はやはり、新型コロナウイルスによる例会・第2例会の中止です。不具合を挙げればきりがありますが、WEB会議など新たなツールを導入してきたので、禍福はあざなえる縄の如しだと割り切って進んでいこうと思います。

伊藤幾夫 2019年度の滑り出しはきわめて順調でした。7月、仙台で開催されたアジア太平洋地域大会は当クラブの田中博之さんがアジア太平洋地域会長ということもあり、クラブをあげてバックアップしました。その後も勢いそのままに、地域の夏祭り出店、NPO法人シェアマインドとの協働、3クラブ合同納涼例会、東京 YMCA 夏まつり出店、ぼんぼこ農園作業、西東京センター秋まつり出店など、年が明けて2月には、当クラブ初の「チャリティーバザー」の実施、この間も「ぼんぼこ農園」での作業は継続。ところが、2月後半から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、例会始めワイズのイベントはほとんど中止を余儀なくされました。ピンチをチャンスに変えるというワイズの真骨頂が試されるときがきました。

「つながりマスク」報告

5月15日(金)に第2便として東京 YMCA 医療福祉専門学校に寄贈し、さらに5月22日(金)、5月25日(水)には第3便、第4便として東京 YMCA 西東京コミュニティーセンターに寄贈しました。これまで寄贈した手作りマスクは合わせて137枚となりました。西東京コミュニティーセンターでは、6月から子ども向けのプログラムの再開を予定していて、特に子どもサイズのマスクは市場にあまり出回っていないので、大変喜んでいただけました。東京八王子クラブの小口さん、東京西クラブの篠原さんにも多数のご協力をいただきました。(田中記)



マスクを手に東京 YMCA 医療福祉専門学校の学生たち
＜西東京コミュニティーセンター主任主事

中里敦さんのメッセージ＞

西東京コミュニティーセンターは、3月から中止となっていた各種プログラムの再開を6月から予定しています。プログラムに参加する子どもたちにはマスクの着用をお願いしていて、今回いただいたマスクは、必要な子どもたちに配布させていただく予定です。布マスクは使いまわしもできるし、デザインもかわいいので、きっと喜ばれると思います。全国のYMCAでは「#はなれていてもつながっている」キャンペーンをしています。今回のマスクも、一緒にいることはできないけれど、YMCAを通してつながっていることが伝わるものだと感じます。子どもたちがマスクしながら笑顔で楽しくプログラムに参加している姿が目に見えます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

ぽんぽこ農園だより

5月30日土曜日午後2時から玉ねぎとにんにくの収穫作業を行いました。友の会の佐々木さん、メンバーの井上さん、峰岸さん、シェアマインドの松本さんと私石田の5人で無事終了できました。今回は、



地元でフードバンク事業を手掛けているシェアマインドの松本さんにもご参加いただき、収穫した玉ねぎ120個、にんにく20個を翌31日、府中市で開催される

パントリーに寄贈いたしました。食事に苦勞されている学生さんたちに無料で提供されます。丸々と大きく太った採れたての玉ねぎたちが、役に立つことになり、地域貢献活動の一つとして結果を出すことができました。汗だくの作業でしたが、心地よい汗になりました。一方、期待していたジャガイモに異変があり、ショックを受けました。青々と逞しく成長していたはずでしたが、害虫に葉っぱを食べられ、1/4が枯れていました。

里芋も日照りが続き中々新芽が出てきません。改めて生き物を育てることのむずかしさを実感させられました。(石田記)



写真：左から井上、佐々木、峰岸、松本

新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの「緊急事態宣言」が5月25日解除されましたが、その後も予断を許さない状況が続いています。6/1(月)現在の世界の感染者は6,172,448人(日本では17,724人)、死者372,136人(日本では913人)となっています。コロナ禍の状況はまだまだ続きそうです。6/6(土)~7(日)に予定されていた東日本区大会(十勝)も中止が決まり、東新部の第3回評議会&次期役員研修会も中止され、役員引継ぎ会は5/30(土)にWEB会議で実施されました。区、部、クラブでのほとんどの会合が中止となっていますが、代わりにオンライン会議が取り入れられ始め“新しいワイズの会議”となりそうです。

(伊藤記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつもYMCAへのご協力に感謝いたします。

◆コミュニティセンターの一部再開について
5月まで続いたセンターの休館について、6月から一部再開の予定です。ただし、「第2波、第3波」といわれる新型コロナウイルス感染拡大予防のため、全館開館するのはまだ先になる見込みです。引き続き、東京YMCAグループ専門学校やインターナショナルスクール、にほんご学院では遠隔(オンライン)による授業が進められていますが、早天祈祷会、午餐会といった定期イベントは中止となっています。

◆東京YMCA医療福祉専門学校より
4月の着任から早2カ月が過ぎ、嵐の中を進んでいるような気持ちでいます。学校でありながら、学生たちと会うことはままならず、オンライン上での授業を実施するのが精いっぱいです。厚生労働大臣指定の介護福祉士、作業療法士養成施設でもありますので、国家資格試験受験に向けて教員も試行錯誤しています。その中であって、ワイズメンズクラブのみなさんからの手作りマスクの寄贈など、目に見えないつながりを感じることもできました。オンライン授業では「ZOOM」という仕組みを使って授業を行っています。「うまく入室できない」といったトラブルもありますが、双方向コミュニケーションを駆使して授業を行っています。

会計からのお願い

6月末をもって今年度の会計を締めさせていただきます。ここ数カ月、例会が開催できない状況の中、会費をお預かりするチャンスがありませんでした。未納の方は、ぜひクラブの口座(下記)にお振込みをお願いします。また、費用が発生している方はメールにてご一報ください。(会計：綿引)

東新部の新年度予定

7月から新年度が始まります。東新部では、東京クラブの加藤義孝部長、長澤弘書記、長澤山泰会計の3役を中心に活動が始まります。主な行事は、次のとおりです。部大会は、わがクラブがホストクラブで、深尾会長が大会実行委員長です。

- 7/18(土) 第1回評議会
- 10/10(土) 部大会
- 11/21(土) 第2回評議会
- 2021/4/17(土) 第3回評議会&クラブ役員研修会

連絡先：〒206-0824 稲城市若葉台4-33-3-203 小早川浩彦 (携帯) 090-9347-7906

例会日：本例会 第1火曜日 18:30~20:30 会場：ベルブ永山 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

第2例会(役員会) 第2月曜日 19:00~21:00 会場：ベルブ永山

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ